

第8回熊毛保健医療圏地域医療構想調整会議の開催結果について

日 時：令和2年10月13日（火）午後6時00分～午後7時30分

場 所：熊毛支庁 第1会議室

出席者：13人（代理出席者3人を含む）

1 概要

（1）説明

ア 令和元年度病床機能報告（速報値）及び令和2年度地域医療介護総合確保基金事業について

イ 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証及び重点支援区域について

（2）協議

ア 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について（公立種子島病院）

イ 熊毛圏域における医師確保対策について

（3）その他

2 主な意見

（1）公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について（公立種子島病院）

- ・ 2025年に担う役割については、「がん」、「脳卒中」、「心血管疾患」、「糖尿病」、「精神疾患」、「救急医療」、「災害医療」、「離島・へき地医療」、「小児・小児救急医療」及び「在宅医療」とすること、また、2025年の機能別の病床数については、現行のプランどおり「回復期60床」とすることについて、委員から特段の意見等はなく、合意が図られた。

（2）熊毛圏域における医師確保対策について

- ・ 医療サイドと自治体が連携し、地域として地域枠医師を受け入れる体制を作っていくことが大事である。
- ・ 離島・へき地に勤務していても、院外のカンファレンスに参加したり論文を書けるような体制を作ることも、新専門医制度における医師のキャリア形成の上で必要ではないか。
- ・ 医師確保を考える上で、数の問題だけではなく、若手の医師を指導できる能力と実績を持った優秀な医師を集める、という観点も必要である。
- ・ 若い医師に離島に来てもらうためには、指導医の件も含め、「熊毛圏域でこういう医療をやって、こういうことが学べる」といった魅力のある地域というのが大事である。
- ・ 医師確保問題については、このような場において十分議論していく必要がある。

（3）その他

次回の第9回調整会議については、令和3年1月頃に開催することで了承された。